

郡山市震災後子どものケアプロジェクト

ペップキッズこおりやまの運営に関する検討会

日時：平成24年11月20日（火）

午後6時30分～

場所：ペップキッズこおりやま

次 第

1. 開 会

2. 議 題

(1) 一周年記念イベントについて

(2) 12月から3月までの感染症対策について

(3) その他

3. 閉 会

『PEP Kids Koriyama』関係者、スタッフの皆様へ

PEP Kids Koriyama設置準備委員会委員長 菊池信太郎

12月23日が目前と迫りました。少ない時間の中で、これだけ大きな事業を展開するに当たり、関係諸者には大変な御迷惑と御手数をおかけすることを、深くお詫びいたします。

オープンを前に、今一度、この施設についての経緯と、確認をしたく思います。

ご存じのように、平成23年3月11日の東日本大震災、そしてそれに引き続く放射線による健康被害の恐怖は、私たちの生活を根底から覆し、次世代を担う子ども達の生活環境を奪いました。子ども達にとっては、“動き回り”、“体を使って遊ぶ”ということがすべての基本です。そして、子ども達にとって、毎秒毎秒が育つために貴重な時間です。その時間を奪った私たち大人の責任は重いことを自覚しなくてはいけません。

さて、そのような中、3月29日に郡山市震災後子どもの心のケアプロジェクトが発足しました。郡山市、郡山市教育委員会、郡山医師会が協力し、子どもの心を守る地道な活動をスタートしました。半年経過し、様々な事業を多くの方々の協力により行ってきました。子どもに関する震災後の多くの事業は多かれ少なかれ当プロジェクトが関与していると自負しています。そして今回のPEP Kids Koriyama設置のきっかけもこのプロジェクトから始まりました。

5月下旬、あるきっかけからボーネルンド社との面会時間を獲得し、急ぎ同社に郡山の現状に関するプレゼンテーションを行いました。私が感じている子ども達にとっての遊びの必要性、大人達が子どもにするべきこと、地域が子どもを守るにはなどの話し合いの中で、私とボ社との思いが一致し、「夏のキッズフェスタ」をボ社の全面協力のもと行うことができました。そして、その企画がその後の試金石なるようと込めた願いが、ヨークベニマル社長からのご厚意につながった次第です。

このPEP Kids Koriyamaには、こうしたこれまで関わってきた多くの方々の思いが結集されています。そして、その思いがあつて初めてなり得た施設です。どうぞそのことだけは忘れないで頂きたいと思います。この施設は、単なる遊び場ではありません。私たち地域の大達が、自分で頂きたいと思います。この施設は、自分の地域子ども達を必死に守り、そして育っていくための場です。ただ資金があって、建物をた

て、遊具を据えただけでは単なる遊び場です。そこには、強い確固とした魂を込めなくてはなりません。PEP Kids Koriyama に関わるお一人お一人が、その魂を育てていく責任と、この施設の行く末を左右していくことを意識して頂き、各々が最高のPEPMEN*になって頂くことを切に願います。

この施設の繁栄は、郡山の、本当の意味での復興の第一歩になることは間違ひありません。

遊び場コンセプト 『地域が子どもを守る』

- ・外できない遊びを室内で実現:特に、砂場、水遊び
- ・運動の基本となる遊びを通して、運動不足の解消、運動能力の解消を図る:理論に基づいた運動の提案、指導
- ・遊びを通した子育ての見直し:子どもが遊ぶとはどういうことかを認識、親が見本
- ・食育を通して、健康の楽しさの一つである食べることを考える

この場を借りて、下記を示します。

PEP CREDO (ペップクレド:ペップの信条)

For Staff

1. PEP Kids Koriyama 設置までの経緯を理解する
2. PEP Kids Koriyama のコンセプトを忠実に実現することを目標とする
3. 主役は子ども達とその保護者であることを忘れない
4. そこに関わるすべての人は、みな同様にPEPMENと思われることを意識する

For Children

PEP Kids Koriyama では、

1. げんきよくあいさつをする
2. おたがいたのしくあそぶ

3. きたないことばかりわないようにきをつける

4. スタッフのいうことをまもる

For Leader (引率者)

1. 大人は子どもの見本であることを忘れない

2. PEP Kids Koriyama 内ではスタッフの指示を遵守する

3. PEP Kids Koriyama 内では、汚い言葉の使用、罵声や叱責をしない

4. 常に子どもの動きに注目し、子どもの成長を肌で感じ、気づいてください

※PEPMEN (PEPMAN&PEPWAN) : 子どもを守り育てる PEP なプレイリーダー。

平成 23 年 12 月 19 日 菊池信太郎

『郡山市震災後子どものケアプロジェクト』

構成：郡山市こども部、郡山市教育委員会、郡山医師会

活動の基本方針：

「子どもの居場所を作る」、「PTSDを早期に発見する」、「地域が子ども守る」

具体的な活動内容

- ・小児科医による子どもの心と体のケア 講演等
- ・児童精神科医師、臨床心理士によるメンタルヘルスケアに関する講習会、相談会等
- ・絵本の読みきかせ
- ・助産師による相談会
- ・運動実技講習会（山梨大学中村和彦教授、東京都うごき研究会協力）

平成 23 年 3 月 29 日結成以来、活動中

上記活動の中で、心のケアのみならず、体のケア、保護者へのケアを行う必要と、より継続的かつ包括的に行う上で、より構造的な組織への改編が求められた。

また、復興関連の国からの予算を得て、市の事業として位置づけた。新組織立ち上げに際し、名称を変更した。平成 24 年 8 月 11 日発足。

1) 代表者会議

プロジェクト全体の方向性を検討、諸活動に対する助言等を行う。

- ・構成 郡山市こども部、郡山市教育委員会、保健所長、郡山医師会、私立保育園協会
郡山市私立保育園連絡協議会、郡山市認可保育所長合同会議、
郡山女子大学、NPO郡山ペップ子育てネットワーク、学識経験者など
- ・リーダー 郡山市こども部部長、サブリーダー：学校教育部長
- ・医師会から 会長、菊池信太郎
→引き続き菊池信太郎がマネージャーに推薦された。

2) 実務者会議

マネージャーが招集し、具体的な方策を検討、実施する。

分科会を設置し、リーダー、参加者など指名する

- ・構成 こども未来課、こども支援課、保育課長、地域保健課、学校教育課、学校管理課、
総合教育支援センター、教育研修センター、郡山医師会、私立幼稚園協会
郡山市私立保育園連絡協議会、認可保育所長合同会議、郡山女子大学
読み聞かせ班、臨床心理士、助産師、看護士等

3) 分科会

5項目に関する分科会を設置。各リーダーの元、関係各部、関係者、専門家を招集し、実施する。なお、事務局は郡山市が担当する。

4) 『PEP Kids Koriyama 運営に関する分科会』

従来の PEP Kids Koriyama 運営委員会を踏襲し、PEP Kids Koriyama の運営に関する全ての事項を検討する分科会。

運営側（市）、サポート側（医師会、NPO、体協など）、利用側（幼稚園、保育園）の3者で、PEP のよりよいあり方や、問題点を検討し、情報の共有化をはかる。

構成：こども支援課（事務局）、私立幼稚園協会、保育園連絡協議会、認可保育所合同会議、

臨床心理士会、郡山市体育協会、郡山市レクリエーション協会、日本大学

NPO 法人 郡山ペップ子育てネットワーク

リーダー：阿部直樹、マネージャー：菊池信太郎、サブマネージャー：野口雅世子

5) リーダーがメンバーを招集し（事務は支援課）、月1回程度の会議を開催する。

6) 具体的な検討事項例

- ・開館日、開館時間の変更の協議
- ・PEP 運営内容
- ・PEP アクティブ、キッチンの運営上の問題点の検討
- ・PEP Learning（イベント）の検討
- ・PEP Counseling（臨床心理による相談会）に関する検討
- ・事故・怪我の対策
- ・スタッフ管理
- ・将来の方向性の検討
- ・利用者側からの意見
- ・その他